予備審査請求は管轄国際予備審査機関へ直接行わなければならない。 2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。

IPEA/ JP

## 特許協力条約に基づく国際出願

第Ⅱ章

## 国際予備審査請求書

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。

国際予備審査機関記入欄 請求費の受理の日 国際予備審査機関の確認 出願人又は代理人の**音**類記号 **JSONY-446PCT** 優先日(最先のもの) *(日. 月. 年)* 第Ⅰ欄 国際出願の表示 国際出願日 (日. 月. 年) 国際出願番号 13.11.2002 12.11.2003 PCT/JP2003/014372 発明の名称 印画装置及び印画方法 第耳欄 出願人 電話番号: 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国 名も記載) ファクシミリ番号: ソニー株式会社 SONY CORPORATION 加入口唇番号: 〒141-0001 日本国東京都品川区北品川6丁目7番35号 7-35, Kitashinagawa 6-chome, Shinagawa-ku, Tokyo 出願人登録番号: 141-0001 Japan 住所*(国名)*: 国籍*(国名)*: 日本国 **JAPAN** 日本国 JAPAN 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 桑原 宗市 KUWAHARA, Soichi <sub>住所(圍名)</sub>:日本国 JAPAN <sup>国籍(国名):</sup>日本国 JAPAN 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 牛ノ濵 五輪男 USHINOHAMA, Iwao 国籍 (国名): 日本国 日本国 JAPAN **JAPAN** ✔ その他の出願人が続葉に記載されている。

様式PCT/IPEA/401 (第1用紙) (2004年1月版)

囷	際	出	顖	番	号

PCT/JP2003/014372

第Ⅱ欄の続き 出願人	
この第Ⅱ欄の続きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求費に含める	ないこと。
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載:法人は公式の完全な名称を配	哉:あて名は郵便番号及び国名も配載)
池本。雄一郎	
IKEMOTO, Yuichiro	
IKEMO10, Talerino	
<sup>国籍(国名):</sup> 日本国 JAPAN	the control of the
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記	載:あて名は郵便番号及ひ国名も配取) 
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	·
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(A-7 (A-7) )
国籍 (国名):	住所 <i>(国名)</i> :
   氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に配載:法人は公式の完全な名称を配	#・ キーター   新価乗号及び国名と記載)
氏名(名称)及びの(名:(姓、名の順に配載,佐入は公式の元主な石物を記	机,砂(石砂环庆留与汉〇四日日记机)
<b>同年</b> (同点)。	住所 (国名):
国籍 <i>(国名)</i> :	
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載;法人は公式の完全な名称を配	載:あて名は郵便番号及び国名も記載)
Car (and the control of the control	
	·
· ·	
图题 (图4)·	住所 <i>(国名)</i> :
国籍(国名):	江川(四石)・
その他の出願人が他の続葉に記載されている。	
· ·	

国際	出	願	番	号

3 ၙ

PCT/JP2003/014372

<u></u>	
第皿欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名	
下記に記載された者は、	
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記載: あて名は郵便番号及名も記載)  10870 弁理士 中村 友之 NAKAMURA, Tomoyuki 〒105-0001 日本国東京都港区虎ノ門 1 丁目2番3号虎ノ門第一ビル9階 三好内外国特許事務所内 c/o Miyoshi International Patent Office 9th Floor, Toranomon Daiichi Building, 2-3, Toranomon 1-chome, Minato-ku, Tokyo 105-0001 Japan	(び国) 電話番号:
通知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載 第 IV 相関 国際子・備報子を1に文寸する。基本・事・項	している場合は、レ印を付す。
補正に関する記述:*  1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。  出願時の国際出願を基礎とすること。  明細費に関して  出願時のものを基礎とすること。  特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎と特別を表別では、「一般に基づいてなされた補正を基礎と対象の規定に基づいてなされた補正を基礎と対象の規定に基づいてなされた補正を基礎を対象の規定に基づいてなされた補正を基礎を対象の表別では基づいてなされた補正を基礎を対象の表別では基づいてなされた補正を基礎を対象の表別では基づいてなされた補正を基礎を対象の表別では基づいてなされた補正を基礎を表別を表別では、「一般に基づを適用される期間の満了まり、出願人が国際予備審査を規則を規則を見まれる期間の満了まり、まました。  出願人が国際予備審査を規則を規則を見まれる期間の満了まり、まました。  出願人が国際予備審査を規則を規則を見まれる期間の満了まり、まました。  「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」は、「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」は、「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「「一般に基づき適用される期間の満了まり、まました。」  「「一般に表する」」  「「一般に表する」)を受領していないときば、まました。  「「日本に表する」)を受領したときば、国際出願の提出時の言語である。  「国際出願の提出時の言語である。」  「「日本に表する」)  「「日本に表する」)  「「日本に表する」)  「「日本に表する」)  「「日本に表する」)  「「日本に表する」)  「日本に表する」  「日本に表する」	た説明書も含む)を基礎とすること。 とすること。 とすること。 つ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。 で延期することを希望する。 も早く開始することを明示的に希望する。 は、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、
国際出願の公開の言語である。 国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。	
第V欄 国の選択	
この様式を用いてされた国際予備審査の請求は、指定され、かつPCT第Ⅱ章に拘束される全て	の締約国を選択する国際予備審査の請求となる。

		国際出願番号	
4	PCT/JP2003/014372		
第Ⅵ欄 照合欄			
この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記載する言語 下記の普類が添付されている。	こよる	国際予備等記入	
「山」ととが日本は、日本に「「「「」」。		受 領	未 受 領
1. 国際出願の翻訳文	: 枚	□	
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正費	: 枚		
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正費 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し	: 枚		
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明 <b>書</b> (又は、要求された場合は翻訳文)の写し	: 枚		
5. 眷簡	: 枚		
6. その他 <i>(曹類名を具体的に記載)</i> :	枚		
この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。			
1. 🗹 手数料計算用紙	5. 記名押印(署名)の欠落		
✓ 納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面	6. コンピュータ読み取り可		
✓ 国際事務局の口座へ振込を証明する脅面		能な形式による配列表に関	運するテーブル
2.   個別の委任状の原本	8 その他 (	に配戦):	ŀ
3.			ŀ
4包括委任状の写し(あれば包括委任状番号):			
第VII欄 出願人、代理人又は共通の代表	者の記名押印		
各人の氏名(名称)を記載し、その次に押印する。			
中村を之で中紀と対理の方式			·
	機関記入欄 —		
1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日			
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付			
3. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求替の受理。 ただし、以下の4,5の項目にはあてはまらない。 出願人に通知した。		限の経過後の国際予備審査 項目にあてはまらない。	<b>噴水費の受理。</b>
4. 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内	7. 規則 80.5 により延長 内の国際予備審査請求	が認められている規則 54 0 ななの受理。	) 2.1(a)の期限
の国際予備審査請求書の受理 6. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが 規則82により認められる。	8. 規則 54 の 2.1(a)の其であるが規則 82 によ	・ 月間の経過後の国際予備審査 り認められる。	<b>証請求書の受理</b>
	局配入欄一		
	,		
国原予備審査請求費の国際予備審査機関からの受領の日:			

様式PCT/1PEA/401 (最終用紙) (2004年1月版)